

須賀地区タウンミーティング概要

- 1 日 時 平成22年7月22日（木）19時～20時30分
- 2 場 所 須賀小学校 体育館
- 3 参加者 24人
- 4 市職員 太田市長、鈴木副市長、江波戸教育長、秘書課長、企画課長、総務課長、
財政課長、税務課長
- 5 概 要
 - (1) 開会
 - (2) 区長会長あいさつ
 - (3) 市政報告（太田市長）
 - (4) 質問（要点のみ掲載）

① 校舎の耐震補強・市民病院関係

2点ほど市長にお聞きしたい。1点は小学校校舎の耐震補強。勉強不足で申し訳ないが、だいぶ前にそういう話があって、既に済んでいるのかと思っていたが、今回の事業計画に入っているのも、まだ済んでいないと理解した。今後いつ頃までにやるのか、どの程度やるのか。学校教育というのは大変大事なものだから。子どもたちは宝。なるべく早く、1日でも早くやってもらいたい。

それから匝瑳市民病院改革プランの推進。私も1年に一度、国保病院にお世話になっている。行くところとご年配の方の患者さんがあまり多くない。なんで多くないのかということでもちょっと疑問になっている。今後の匝瑳市の運営方針として市長がどのように考えているのか伺いたい。

（市長回答）

須賀小学校校舎の耐震工事については、8月に実施する予定になっています。

市民病院の一番大きな問題は、経営の立て直し、健全化です。患者が少ないところからももちろん来るのだが、市の一般会計から5億円以上を病院へ繰出しているのも、何とかこの繰出金を少なくしたいと考えています。

どうしたら病院の経営が良くなるかということを見ると、市民病院に限らず、医師不足の問題がある。市民病院が黒字になっていた時代には23名の医師がいた。今は12名の医師でやっている。病院一丸となって、行政も一丸となって、一人でも多く赴任していただけるよう働きかけをしているがなかなか難しい。

県の地域医療再生計画における市民病院のあり方というのは、二次救急の処置、設備ができるように。手術も対応できるような病院にしてもらいたいと言われて

いる。今の市民病院では、到底県が考えているような病院の状態ではない。県の構想に乗るということであれば、病院の増改築をしていかなければいけない。また、最新の医療機器も備え付けなければいけない。非常にお金がかかる問題です。

来月くらいに市民が市民病院をどのように考えているのか、将来市民病院がどうあるべきか、というアンケートを実施したい。そのアンケート結果を参考にしながら、健全経営に向けて検討していきたいと考えている。とにかく病院の健全な運営は急務ですので、力いっぱい頑張ってもらいます。

② 市内循環バス・市財政関係

市内循環バスの運行について。近所の利用者、主にお年寄りの人たちの話を聞けば、以前は集落内を走っていたものが、大きな道路だけを通るようになったと。結果的に、利用しているのは年齢が上の方がほとんどだと思う。そういうことを考えたとき、バスに乗る場所、そこに行くのも大変ということもあるので結局利用しなくなってしまう。以前のように集落の中を走ってもらった方が良いのではないか。そうでなければほとんど必要がないのではないか。利用者の事を第一に考えていただいて、いろいろ方法を考えてもらいたい。

新聞によると、千葉市とか名古屋市とか、いくつか大きな都市でも財政状況が悪化し、厳しくなっているとのことであったが、匝瑳市も財政面がかなり厳しいと聞いている。例えば議員数とか、合併したときに $1 + 1 = 2$ じゃないが議員数が非常に多くなった。まずそういうところを考えていただき、いろいろな考えがあると思うが、財政でどこを削れるのかという面と、使える財源の有効な活用の両面を考えてもらいたい。

(市長回答)

市内循環バスについては、本当にお金がかかる事業で、今でも6,000万円くらいかかっています。2年前にアンケートを取った時に「そんなにお金をかけなくてもいい」、「土日は乗降客が極端に少ないので運行をしない方がいい」、「隅々まで回ると時間的な問題があるのもっとスムーズに運行したほうがいい」という意見が多く寄せられ、市内循環バス利用向上委員会で検討した結果を受けて、昨年の4月から、土日祝日は運休。運行ルートも効率の良い、時間短縮できるものに変更され、バス停も変更になっています。

しかしながら、どこの地区へ行っても「土曜日だけでも再開して欲しい」という声が大変多く聞かれるところであったので、利用向上委員会に再度検討をお願いしたところ、「土曜日については運行する」という結論をいただきましたので、出来るだけ早い時期に土曜日の運行を開始できるように手続きを行っています。

今後、バス停のことについても検討してもらえそうな形で提案させていただきたいと思います。

財政面ということで、私も匝瑳市の財政は相当厳しいと思っておりましたが、財政課長から話を聞くと、一時期悪い時もあったがだんだん良い方向に上向ってきているというような話を聞いています。合併後、かなり頑張って行政改革に取り組んだ成果でもあるということです。

(財政課長回答)

千葉市と名古屋市のことですが、地方交付税という制度があり、国から都道府県や市町村にお金が交付されます。匝瑳市の場合は40億円くらい。40億円というと市民の皆さんに収めていただく税金より多い金額になります。一方、税収の多い裕福な団体には地方交付税は交付されない。21年度まで交付されていなかった千葉市、名古屋市、横浜市などの裕福な団体も、法人税を中心に税収が落ちたので地方交付税を交付される団体に転落したという記事が新聞に載っていたのでそのことかと思えます。

千葉県内では浦安市、成田市、袖ヶ浦市などはいまだに裕福で、地方交付税の交付は受けないと思うが、法人税に多くを依存している団体の一部は地方交付税をもらう団体に転落することになります。匝瑳市の場合、もともと税収に占める法人税の割合が非常に小さいので、景気が悪くなって法人税収は落ちているが、額としてはそれほど大きなものではなく、影響も小さいです。

匝瑳市は、国から流れてくるお金に多くを依存しているということから、国からお金が来なくなれば財政は厳しくなるし、国からお金が来るようになれば財政は楽になる。小泉さんが総理大臣の時代は、三位一体の改革ということで地方へ来るお金をどんどん削減していき、小泉さんが総理大臣をやった5年間で匝瑳市に来るお金が10億円くらい減った。130億円程度の財政規模のところでは10億の収入が減るわけなので、当然財政的には厳しくなる。小泉総理のあとは地方にだいぶお金が来るようになり財政の状況は良くなってきています。

(市長回答)

議員数についてですが、24名から20名になったのはご存知でしょうか。3月議会で24名の定員を20名に、4名減らしました。

市民から「もっと少なく」という陳情もありましたし、「市長は20人にとこのをどう思う」と聞かれたこともありましたが、自分は「議会の決めたことを尊重する」と議会で答弁させていただいています。個人的には「もうちょっと頑張ってもらえばよかったかな」という気持ちもありますが、10月の市議会議員選

挙は定数20名で行われますので、立候補される皆さんには頑張ってくださいと思います。

③ 市内循環バス関係

関連の質問だが、バスの運行について。これは地方にとって重要なこと。今は一家に一台から、子どもが成人してくると一人一台というマイカーの時代。私も68歳になり、あと何年もしないで循環バスにお世話になるときがくる。

地方によってはダイヤモンドバスという、要望に合わせて地域を回る運行をしているところもある。利用者の利便を考えれば、小さいバスによるダイヤモンドバスというのも一考に値する。そうすると今まで広い道しか入れずに、狭いところも回って欲しいという要望も解決すると思う。

(市長回答)

今後検討していきたいと思います。

④ 光ブロードバンド・関係

先ほど市長のご説明のあった中で「活力ある匝瑳市」というのは、少子化対策とか、いろんな付随する全てが網羅されている大きなタイトルだと思う。市に活力を与えるために、企業を誘致しようということは誰も考えていない時代になったと思う。地域の地場産業を活性化し、その促進の手立てを市側も全面バックアップするというのが活力ある方向性を見出すことと思う。

その中で、光ブロードバンドの整備事業。現在も事業進行中とのことだが、地場産業を支えるためにも一つの大きなキーワードになってくると思う。今は農家でも直接日本国内どこでも販売するという形になってきた。私も去年30年ぶりに匝瑳市に帰ってきて、ブロードバンド問題が愕然と私の前に立ちはだかった。

「スピードが遅くてこれじゃ商売には使えないぞ」と。今の時代は情報化社会。各小学校にまで設置されている形なので、これをうまく活用すると高齢者の独居対策などの管理も出来ると思う。原口総務大臣も「2015年までには日本全国ブロードバンド化を必ずする」と言っていたが、予算等もあるがなるべく早く実行して、これをベースに枝を広げて介護の問題、防犯の問題、一番大きい市の活性化のため、いろんな事業を活性化し、PRをできるような形をお願いしたい。

それと、先ほどから財政の問題を皆さん心配されているのは私も同感。ただ、日本全国みんな赤字地方団体ばかりであり、いつ夕張になるかとかそういう問題が非常に騒がれている。その中でこのタウンミーティングを太田市長が始められたことは「地域は地域なりに一生懸命にやってそれができないものを市がバック

アップしましょう」という形だと思ふ。これが趣旨だと思ふ。自分が小学生の頃、道普請というのがあった。地区の皆さんが総出で、自分たちの生活道路を整備していた。これが一つの例である。自活力じゃないが「自分たちの地域は自分たちの手で出来るだけやりましょう」という形の、今まで市に任せていたものを自分たちの手で考えて、いろいろ自分たちで整備できるようにするという形をとっていけるようにしていただきたい。

また、特殊な分野になるが、市役所内のOA機器のセキュリティ問題なのだが、コンピュータを動かすソフトのwindows 2000が、7月13日で保守期限が切れて、発売元のマイクロソフト社では「これ以降は何があっても対応しないよ」という形だが、それを変更するにあたって各自治体において、財政難でその対応ができないという地域もぼつぼつと出てきている。これは個人情報流出等に関わることなので、匝瑳市の状況をお伺いしたい。

(市長回答)

活力ある元気のでるまちにどうしたらいいかということだが、とにかく若い方々に定住してもらい、活気あふれる町にしなければならないので、若い人たちが働ける場所、あるいは子どもを育てやすい環境にしていかなければならないと考えている。

また、今の時代、企業誘致はなかなか難しいだろうということですが、難しいことは難しいが、気を抜かないで何とか一つでも優良企業に来ていただけるような努力はしていきたいと考えている。企業誘致の場合でも、新しく住宅を建てる場合にも、固定資産税の減免措置など、いろいろ行っています。とにかく若い人が住みやすい、企業が進出しやすい環境整備をこれからも頑張っていきたい。

あと、とにかく活力あるまちのために、実のあるタウンミーティングにしてくれということだと思ふが、市民が主体のまちづくりをしていかなければならないと考えている。また、タウンミーティングに限らず、市長への手紙やメール等を通じて、市民の方々から本当に身近な状態でご意見ご希望を聞くという施策を取っていく。市民と一緒にやっっていこうという気持ちで4年間頑張っていきます。

(企画課長回答)

光ブロードバンド関係ですが、現在は中央地区を中心に豊栄の一部等で利用可能な状況。その他の地域については利用が出来ない状況にあります。情報格差の是正ということで、市のほうでもブロードバンド導入の検討を行ってききましたが、従来の補助金に加え、新たに経済危機対策臨時交付金ということで、国からの追加の財政支援が受けられるようになり、市の財政負担が極端に少ない中で事業が

実施できるという状況になったので、現在市内全域で光ブローバンドが利用できる状況にするための事業に取り組んでいます。本来は民間の通信事業者、NTTなどが整備をしてきたわけですが、やはり採算性の問題でなかなか難しいということがあります。今回、市が光ファイバーを敷設してそれをNTTに貸付しサービスを提供する、いわゆる公設民営方式で事業を実施することにしています。現在工事を進めているところですが、今後の予定としては来年の2月に工事を竣工し、6月頃から市内全域でご利用いただける状況になる予定です。また、8月に入ったら加入者の取りまとめ等もご意向を伺うようなチラシ、回覧等を市内に配布し、事業の内容を周知していきたいと考えています。

w i n d o w s 2 0 0 0のサポート期間の終了の件ですが、住基情報とか税情報、こういうものを処理する住民情報システム、それから職員が使用している庁内のネットワークに接続したパソコン、これらについてw i n d o w s 2 0 0 0は使用していません。今後もセキュリティ対策には万全を期していきます。

⑤ 行政区、体育館、プール関係

新しく須賀に入ってきた人たち、小さな10軒くらいの集落が結構出来ている。だが、地区でいろいろな役があるが、それはほとんどやらないという立場で集落を作ってしまう。

私がいる地区でも二つに分かれているのを一つにしなければやっていけないかなというぐらいのときに、新たにまた集落が出来ようとする。市ではそういうものをどのように指導しているのかということが一つ。例えばどういうふうに許可して、地区の名称をつけているのか。

次に、体育館が来年度にできると聞いているが、大きさ的にはどうなのか。設計はある程度具体的になっているのか。実際今の体育館は非常に小さい。例えばミニバスケットをやるにしても、正規の大きさが取れないし、ドームでやると子どもたちが5歩くらい余計に歩かなければならないとか、練習にもいろんな不便さがある。もしこの場所で建てると、向こうにプールがあって校舎の間だから大きくなれないのかなという心配もある。

もう一つは、このプールがあと何年持つかわからない。機械のほうも持っても2～3年じゃないかという話もある。匝瑳市にはプールが壊れて使えないところがたくさんあるが、それもほとんど壊さないでそのままになっている状態で、土地的には非常に無駄。壊すのにはお金がかかると思うが、これからもそのプールはみんな残しておくのか。それともいつかは壊してもらえるのか。

(市長回答)

新しい集落ができて、新住民のグループがぼつりぼつりと出来てなかなか地元の人との付き合いとか、コミュニケーションが図れないということですが、とにかく私が先ほど申し上げたように、人間関係の希薄化があると思いますので、これはやはりお互いに協力し合って意図的にコミュニケーションを図っていかなければいけないのではないかと考えている。行政サイドで地区の付き合いについて指導することは難しいことだと思う。問題点があれば言っていただき、お力になれることがあればお手伝いをさせていただきたい。住民の皆さんは大変でしょうが、コミュニケーションを図っていただいて、横のつながりといいますか、地域の団結力のためにご奮闘いただきたいと思います。

(教育長回答)

体育館については、最初に、地震に対してどのくらいの強度があるのか耐震関係優先度調査を行いました。その時の専門家の見立てでは、「須賀小の体育館は比較的丈夫だろう」ということでした。危ないとされたものから順次、詳しい診断を専門家をお願いし、全建物、校舎、体育館を診断したところ、一番丈夫だと思っていた須賀小の体育館が、最も危険度の高い建物だということがわかりました。早急に建て直す必要があるということで、須賀小の体育館は、来年度実施予定となっています。規模が一番新しい豊栄小の体育館とほぼ同じ、約900㎡とかなり大きな体育館となりますが、この場所を使って、もう少しプールの方に伸ばすことで充分建設することができます。

校舎については、耐震補強という形で、現在須賀小も工事に取り掛かっており、この夏休み中に市内ほとんどの校舎は補強工事が完了します。

プールについては、現在壊れて使用できないところと使用できるところがあり、使えるプールを有効活用して、壊れている学校の児童生徒については近所の学校のプールを使用している状況。一時期から見ると、水泳指導の授業の時間がかなり少なくなってきたこともあり、プール使用の時間数が減っているということもある。

市全般の財政面を考えて優先順序を考えると、まだ壊れたプールをどうするかというところまでは進んでいない。現在最も優先しているのは、児童の生命に直接関わってくる耐震化の問題。地震の時に校舎がつぶれないということ優先して、全面的に耐震化に取り掛かっている。今年度だけで7校舎がすでに補強工事に入っている。次は体育館になるが、プールについては優先順序から考えると、そこまで進んでいないというのが実情。今後は、お金の問題、児童の減少の問題などを総合的に考えて、計画的に取り組んでいかなければなりません。

(秘書課長回答)

自治会の関係で実務的な部分でお話をさせていただきます。市の担当窓口は環境生活課です。自治会に入る、入らない、新たな自治会を作るといのはやはり行政とのつながりを考えた上では大変な問題です。須賀地区に限らず、新興住宅が出来る地域、椿海、豊栄などは、匝瑳市の中でもよそから転入される方が多く、既存の自治会に入る、入らない、また新たに作りたいというところでいろいろな問題が生じています。しかしながら、そういった組織体系は必要なものですから、環境生活課でも相談に乗っていますので、懸念があれば相談していただきたいと思ひます。

⑥ (仮称) 合併記念公園関係

市役所の北側に避難所を兼ねて公園を造るとい話を聞いたが、もしもそういう計画があるのなら、その中にぜひ小動物園を造ってもらいたい。犬とかヤギとか、小さな動物の動物園。私が学校にいた時には、子どもたちが猫でも何でも触りたくて学校に持ってきていた。公園を造るような場合には、管理費はかかるが、東京都や千葉県でもそういう公園を作っているところがあるから、そういう所を視察してみてもどうか。小動物でも飼えるようなそういう施設は、温かみのある子どもたちを育てるのに必要だと思ひ。

(市長回答)

今のところ構想がはっきりと出来上がってはいませんが、そのような形はまったく考えていませんでした。ご意見として承ります。

⑦ 銚子連絡道路関係

銚子連絡道路のことで市長にお伺ひしたい。この道路の必要性については私たちが十分認識しているが、いざ計画が発表されて、自分の家のすぐ前をこの道路が通ることになり、とても戸惑っている。一概に納得できないということがある。

県の職員は、最初、家屋はなるべくつぶさない、通らない、耕地の斜め横断はなるべくしないと。それから分断された農道から耕地へのアクセスは、横道の整備でこれを補うと。それから通学道路などについてはカルバート工法などで農耕車が十分通れるようにするなど説明をしているが、私たち住民にとって最も考えなくてはならないのは、今度の建設道路と現在住んでいる家屋とがあまりにも接近しすぎること。それは環境の悪化という問題が考えられるので、この点がネックになって、何回会合を開いても住民と行政との調整が図れない。これから何回同じことをやっても、住民からの歩み寄りということとはちょっと考えられない。

それから県のほうでは都市計画というのか、「計画上5mも移動することはできない」と繰り返しおっしゃっていて、何度説明会を開いても平行線というか、そういうことになってしまうと思う。私たちは、ただ道路がすぐ前を通るだけで、たいしたメリットが無いといったら怒られるが、旭、銚子方面の皆さんのようにはメリットと言うか重要性を考えていない。そこで、ただ5mも計画を移動できないと主張されても歩み寄りには出来ない状態。匝瑳市としても銚子連絡道の完成を待ち望んでいるとは思いますが、この点についてどのようにお考えか、市長さんのお考えをお聞きしたい。

(市長回答)

銚子連絡道路は県の仕事ということで、市としては県と協力していく立場にあります。県の設計と地元の皆さんのご意見がなかなかうまくすり合わせが出来ないということは存じ上げています。地元としてあの道路はメリットが無いというのは理解できなくはありませんが、大きな目で地域の発展ということを考えていただいて、協力願えればと思っています。

100mくらい南側へ線を引き直して欲しいと強く要望されているということを県側から聞いています。工法を変更することにより何mかは南にずらすことは出来るということも聞いています。

(それでようやく5mくらい南に行くという話。でもそれでは住民は納得できない。最近では座談会に出て来ない人がほとんど。この前6月に入ってからもあったが10人も来ない。地権者も来ないという状況で、これでは全然話が進まない。)

本当に住民の皆さんの気持ちというのは重々わかります。とにかく県との話し合いがなされないと進みませんので、私からも県に対して、タウンミーティングでこんな話があったということを伝えておきます。県では、何回でも住民の皆さんと話し合いを持ちたいということですので、場合によっては市からも会合に同席させていただき、間を取ることができれば間を取っていきたいと考えています。

⑧ 銚子連絡道路関係 2

10年くらい前に、駅の南側にある町は発展するけれども、北側にある町は発展しないというのを本で見たことがある。今の道路の計画は線路から450mくらい南だと思うが、300mくらいまで北に上げて、それで296号から途中まで。先に旭は飯岡バイパスから中央病院の駐車場まで出来たから、匝瑳のまちもその部分だけ早く道路を作ったらいかかと思う。というのは、この前県と話を

したら部分的にでも工事は着工しますという話だったから。匝瑳市も国と県に陳情して、早く道路が出来たら30年くらいのうちには人口が増えて固定資産税が上がると考えているがどうか。

(市長回答)

本当に生活道路、経済道路、発展する道路が出来るとは素晴らしいことです。

いま言われたのは、銚子連絡道路をもっと北に上げてはどうか、そうすればもっといい形でまちの発展につながるというご意見だと思います。

これから西の方から銚子側に向かっていくとまだまだ30年～50年かかるとも言われており、銚子側からも工事を始めようという動きもあるようです。ですからなかなか今の計画路線を変更するというのは難しいと思います。

道路作りは100年の計ということで、鋭意努力をしてみたいです。

⑨ 都市計画関係

駅の南口から工業団地に向かっている道路の両脇は住宅地にならないのか。もしなるとしたらいつごろなのか。

(市長回答)

駅の南口から工業団地に向かう道路については、大利根用水のところまでは農業振興地域から除外されていますが、それから先は道路の脇でも農業振興地域になっています。農業振興地域では住宅建設等が制限されますので、現在、都市計画マスタープランの作成を進めている中で、南北に市街地から海岸方面に向かう県道とか、国道296号の延伸道路の脇25mくらいは何とか農業振興地域から外してもらおうと相談しているところです。将来に向けて開発が出来るようにするための準備は進めています。

⑩ 工業団地関係

工業団地のOBとしてお伺いしたい。工業団地は私の現役時代には、30数社、1,500名の雇用があった。現在は聞くとところによると27社で850名。海外シフトも多いということで、ほぼ半分に近い状態です。

これは私がもとの同僚から聞いた話だが、以前、私の勤めていた会社が、撤退した会社の用地を取得して、30億円を投資し、100人の雇用を生み出すというプランを市に持ちかけたことがあったそうだが、市長はご存知か。前市長さんのちょうど過渡期だと思うが、話を持っていったのは私の同僚でまだ現役で残っている。しかし、市から良い返事は無かったということ。県に話をしたら、県は

翌日くらいに東京の本社まで県の商工の担当課の方が即飛んできたそうだ。「ぜひいい話でしたら」というようなことで。ただ会社もいろいろな状況があるので検討中ということだったが。

匝瑳市は、成田に近いという地の利もあり、しかも工業団地の遊休地を既已取得しているということもあるし、対応としてもったいなかったのではという思いを持った。現在どの辺まで進んでいるのかは、私はOBなのでわからないが、その辺も含んで心に留めて引き続き検討していただければと思う。

(市長回答)

勉強不足で申し訳ないが、初めて耳にすることなのでよく調べたいと思います。

ボタンの掛け違えでとんでもない損失を被る場合もあるので、本当に勉強して積極的に取り組んでまいります。